

野口聡一（のぐち そういち）宇宙飛行士搭乗の
米国クルードラゴン宇宙船運用初号機の帰還について

[内閣府特命担当大臣（宇宙政策）談話]

本日、野口聡一宇宙飛行士が、およそ半年間に及ぶ国際宇宙ステーション（ISS）での長期滞在を終え、米国クルードラゴン宇宙船運用初号機にて無事に帰還しました。日本人宇宙飛行士の活躍は、宇宙の今後の可能性を拓くものであり、国民の皆様、特に将来を担う子供たちにとっても、誇りや憧れを感じられる非常に意義深いものだと思います。

野口宇宙飛行士の SNS を通じた動画やメッセージの積極的な発信により、多くの国民が宇宙を身近に感じられるようになりました。先日、ISS にいる野口宇宙飛行士と交信した際にも、デジタル技術により地上と宇宙がシームレスにつながる時代が来たことを改めて実感したところです。

今後、ますます宇宙の利用が進み、民間企業や民間人が宇宙に進出していくことが期待されます。野口宇宙飛行士の貴重な経験を、官民の様々な取組に活かし、我が国が宇宙利用大国となれるよう努めてまいります。

令和 3 年 5 月 2 日

内閣府特命担当大臣（宇宙政策）

井 上 信 治